

団体・組織の概要

※太枠内、必須事項。その他は、該当する項目を記載してください。

団体/会社名	有限会社 中部G T		
代表者	比嘉 愛子	担当者	比嘉 明
所在地	〒901-2321 沖縄県中頭郡北中城村字美崎252番地 TEL:090-9789-9525 FAX:098-935-5159 E-mail: horizon@coast.ocn.ne.jp		
設立の経緯 ／沿革	平成18年3月1日 設立 以後、営業活動に入る。		
団体の目的 ／事業概要	工業用アルコールの小売販売		
活動・事業実績 (企業の場合は環境 に関する実績を記入)	環境に関する実績無し		
ホームページ			
設立年月	平成18年3月 *認証年月日(法人団体のみ) 年 月 日		
資本金/基本財産 (企業・財団)	3,000,000円	活動事業費/売上高(H17)	
組 織	スタッフ/職員数2名 (内 専従 2名)		
	個人会員 名	法人会員 名	その他会員(賛助会員等) 名

政策のテーマ

イノー発電

■ 政策の分野

- ・ 地球温暖化の防止
- ・ 持続可能な地域づくり

■ 政策の手段

- ・ 予算・資金措置
- ・ 施設等整備

団体名：有限会社 中部G T

担当者名：比嘉 明

■ キーワード

眼前に広がるタダの不動産

アトランティス計画

① 政策の目的

風力発電の普及を図るために、海上風力発電・風車支柱の有効活用に活路を開く。

② 背景および現状の問題点

※事業の社会的ニーズを示す現状の問題点などを記載下さい。

風力発電の普及が大きな政策課題になっているが、まとまった電力を得るには広大な面積を要し、また採算性に今一つ不安があることが、普及のネックになっている。

③ 政策の概要

※500文字程度に、簡潔に事業の概要を記載下さい。

沖縄の海は岸からリーフまでの間に、遠浅のイノー（礁湖・ラグーン）が発達している。そこに風力発電（イノー発電）の風車を林立させ、その支柱に桁を渡してウッドデッキを整備する。風力発電から得られる電力を余剰電力購入制度を利用して電力会社に販売すると共に、ウッドデッキの海上スペースを不動産的に活用してその運用収入を図る。例えば、海上スペースの快適空間を人工ビーチ・海洋スポーツのステージとして機能させる。地中海クラブ風の低廉な若者向け宿泊施設やフィッシャーマンズ・ワーフ等多数のテナントを導入して、観光地・リゾートとしての発展を図る。将来的にはウッドデッキの先端部分にヨットやボートの係留施設を設置して海洋へのアプローチ拠点とする。また、風力発電の他に潮汐発電・波力発電・太陽光発電等多数の新エネルギーシステムを展示して、新エネルギー公園として整備する。

④ 政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

政府の制度資金を活用して、企業・地方自治体が連携してイノー発電を整備する。

⑤ 政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

企業・方自治体

⑥ 政策の実施により期待される効果（具体的にお書きください）

- ・ 海上風力発電の一形態として、これに解決を与え普及が促される。
- ・ 風車支柱が有効な産業インフラとして評価され、風力発電への投資が促進される。
- ・ 温暖化対策・環境対策が、産業振興・地域活性化と両立することが実証される。
- ・ 海浜景観に恵まれていない沖縄中部の東海岸を、これによって観光地に変身させられる。

⑦ その他・特記事項

- ・ 沖縄からスタートさせて、その成果をもとに全国展開を図る。